

## 南関東ロジスティクス労組 第 15 回定期大会を開催



11月17日、都内において、JR貨物連合加盟組織であるジェイアール貨物・南関東ロジスティクス労働組合は、第15回定期大会を開催し、当面する活動方針を満場一致で可決しました。

主催者を代表して挨拶に立った山田執行委員長は、「日頃より、組合活動にご尽力頂き、改めて感謝申し上げる。日々、列車遅延に見舞われている中、安全最優先の業務を遂行しているが、ちょっとした油断で

事故は起きてしまう。発車の時間に間に合わないかもと、急いで作業してしまうことがあると思うが、安全を無視して良い商品は提供出来ないことを強く認識してもらいたい。高市新政権になり、失われた30年から脱却するべく様々な動きを見せている。2024問題もあり、物流は大きな政策課題であることから、政治動向に興味を持って頂き、合わせて組合活動にも積極的に参加して欲しい」と呼び掛けました。

来賓には、JR連合関東地協渡邊副議長、JR連合住吉局長、こくみん共済 COOP 杉原様、中央労金大井支店山崎次長、JR貨物連合鈴木事務局長の5名がお越しになり、各々より、ご挨拶を頂戴し、鈴木事務局長からは、「JR連合・JR貨物連合の取組みに対して改めて感謝申し上げる。私達には、安全、組織、政策、労働条件等、多くの課題があり、JR連合とともに解決に向け取り組んでいく。JR連合には多くの仲間がおり、研修会やイベントを通じて、自分自身の知見や人脈を広げるきっかけになることから、積極的な参画をお願いしたい」と、述べられました。

続いて、執行部より2024年度の活動経過と、安全最優先の取り組み、賃上げを含めた労働条件改善、安全安定輸送のための鉄道強靱化を含めた政策課題を主とした今後の運動方針を提起し、質疑では、2026春闘・安全問題等が出され、最後に、山田執行委員長による団結ガンバローを行い、大会を終えました。

大会終了後は、場所を移し懇親会を行い、更なる親睦を深めました。

